

箕浦格良教授 略歴・主要著作目録

略 歴

- 明治四十一年七月十三日 岐阜市雛倉七七五において出生
- 昭和十六年三月 立命館大学法経学部経済学科卒業
- 昭和十七年九月 福岡高等商業学校教授
- 昭和十九年四月 九州経済専門学校教授
- 昭和二十三年四月 立命館大学講師兼立命館専門学校講師
- 昭和二十四年四月 立命館専門学校教授兼立命館大学講師
- 昭和二十七年四月 立命館大学助教授
- 昭和三十年一月 立命館大学教授

主要著作目録

著書

『交通と運賃』（公共企業論）	昭和二十五年七月	油井出版
『ヒュー・ドールトンの経費論』	昭和二十六年一月	三和書房
『講和後財政の性格』	昭和二十七年一月	三和書房
『附加価値税提要』	昭和二十七年二月	三和書房
『財政学ノート』	昭和三十年十月	雄渾社
『財政学』	昭和三十一年十月	雄渾社
『経費論』	昭和三十二年十一月	玄文社
『租税論』	昭和三十二年十一月	玄文社
『財政の基礎理論』	昭和三十三年五月	雄渾社
『財政学原理』	昭和三十三年五月	雄渾社
『財政制度論』	昭和三十四年十月	雄渾社
『財政学』（共著）	昭和三十八年四月	雄渾社
『財政学講義』	昭和四十年四月	雄渾社
『古典学派の財政理論研究』	昭和四十三年四月	雄渾社
	昭和四十三年十一月	雄渾社

論 文

『経費の本質』

『附加価値税概要』

『附加価値税の本質』

『ヒュー・ドールトンにおける経費に関する理論』

『事業課税の外形と本質』

『カメラリスムスにおける財政思想』

『アダム・スミスの財政論』

『J・S・ミルにおける財政思想』 I

『J・S・ミルにおける財政思想』 II

『F・ケネーに於ける財政思想』

『官房学派における財政思想』

『A・スミス J・S・ミルにおける租税原則論の展開』

— 古典学派における財政思想 (一) —

『A・スミス D・リカアドオ J・S・ミルにおける租税理論の展開』

I — 古典学派における財政思想 (一) —

『A・スミス D・リカアドオ J・S・ミルにおける租税転嫁理論の展

開』 — 古典学派における財政思想 (二) —

法と経済 一一一—号

法と経済 一一七・一一八号

立命館経済学 第一卷 第一号

立命館経済学 第一卷 第五・六号

立命館経済学 第二卷 第二号

立命館経済学 第三卷 第三号

立命館経済学 第三卷 第五号

立命館経済学 第四卷 第二号

立命館経済学 第四卷 第五号

立命館経済学 第八卷 第五・六号

立命館経済学 第九卷 第三号

立命館経済学 第九卷 第六号

立命館経済学 第十二卷 第二号

立命館経済学 第十二卷 第三号

- 『A・スミス D・リカアドオ J・S・ミルにおける租税転嫁理論の考察』
— 古典学派における財政思想 (四) —
立命館経済学 第十二卷 第四号
- 『A・スミス J・S・ミルにおける国家経費に関する理論の展開』 I
— 古典学派における財政思想 (四) —
立命館経済学 第十三卷 第五号
- 『A・スミス J・S・ミルにおける国家経費に関する理論の展開』 II
— 古典学派における財政思想 (六) —
立命館経済学 第十三卷 第六号
- 『A・スミス J・S・ミルにおける国家経費に関する理論の展開』 III
— 古典学派における財政思想 (七) —
立命館経済学 第十四卷 第一号
- 『A・スミス D・リカアドオ J・S・ミルにおける公債に関する理論の展開』 I
— 古典学派における財政思想 (八) —
立命館経済学 第十四卷 第三号
- 『A・スミス D・リカアドオ J・S・ミルにおける公債に関する理論の展開』 II
— 古典学派における財政思想 (九) —
立命館経済学 第十五卷 第一号
- 『A・スミス D・リカアドオ J・S・ミルにおける公債に関する理論の展開』 III
— 古典学派における財政思想 (十) —
立命館経済学 第十五卷 第二号
- 『A・スミス D・リカアドオ J・S・ミルにおける租税理論の展開』 II
— 古典学派における財政思想 (十一) —
立命館経済学 第十五卷 第三号
- 『A・スミス D・リカアドオ J・S・ミルにおける租税理論の展開』 III
— 古典学派における財政思想 (十二) —
立命館経済学 第十五卷 第四号
- 『A・スミス D・リカアドオ J・S・ミルにおける租税理論の展開』 IV
— 古典学派における財政思想 (十三) —
立命館経済学 第十五卷 第五・六号

『A・スミス D・リカード J・S・ミルにおける租税理論の展 立命館経済学 第十六卷 第一号

開』V —古典学派における財政思想 (四)

『A・スミス D・リカード J・S・ミルにおける租税理論の展 立命館経済学 第十七卷 第一号

開』VI —古典学派における財政思想 (四)

『古典と財政理論』 財政学研究 第四号

『古典学派の財政理論研究反省』 財政学研究 第五号